

人はたがやす 水牛はたがやす 稲は音もなく育つ

カラワン・コンサート日程

2

新しい仮面のつくり方

4

1 仮面をつくらう

2 新しい仮面のつくり方

3 新しい仮面の基本型

4 創作仮面戯の準備のために

水牛楽団のページ

31



カラワン楽団・水牛楽団・小室等 「生きるための歌」コンサート日程

東京・欧日協会ユーロスペース

9月3日(土) 7時

9月4日(日) 3時、7時 2,000円

☎03-425-9658 (水牛楽団)

甲府・山梨県民文化ホール

9月17日(土) 3時30分、6時30分 1,500円 子ども 700円

☎0552-22-1541~2 (山梨県教育会館)

長野・長野県民文化会館小ホール

9月18日(日) 6時30分 前売1,800円 当日2,000円

☎0262-24-0330 (ゆいまある)

松本・厚生文化会館

9月19日(月) 6時30分 前売1,500円 当日1,800円

☎0263-46-0096 (高橋)

名古屋・名演小劇場

9月20日(火) 6時30分

9月21日(水) 6時30分 前売1,800円 当日2,000円

☎052-231-0354 (スタッフ・レム)

※

このほかにカラワン楽団が出演するのは、「父母と子どもにおくる平和のためのコンサート」 大阪サンケイホール

9月24日(土) 5時30分 入場無料

☎06-942-3561 (大阪市教組)

新しい仮面のつくり方——創作仮面劇のために

水牛通信のみなさんへ——

最近、私たち「マダン劇の会」の手元に入った資料のうちの一つです。それらの資料はほとんど手書きのガリ刷りのものです。「新しい仮面の作り方」はタイプ刷りです。したがってかなり広く普及するために作られたものようです。韓国の演劇雑誌をみると、既成劇団（新劇）が盛んに「演劇ワークショップ」を開いています。深刻な不景気の中で観客はなれを防ぐため、もう一つは、地方劇団の育成にのり出した当局の政策にそって。だが、それは「津波のように」全国各地に広まっていつているマダン劇を含むさまざまな民衆文化運動をなんとか封じ込めようとする対抗策として出てきた動きであること

は明らかです。立派な公共施設と援助金を与えて、旧態依然の「翻訳劇」をやっている地方劇団育成のためのワークショップ！今年から官主導の「コンクール」をやるとのことです。

タルチュム・グループなど、民衆演劇に従事している人たちの状況は苦しく、資料をとどけて下さった人の話では、「中産意識をおおる風潮の中で、価値感をしつかり持ちつづけなければ」「交通費にもこと欠く生活の中で」運動をつづけるのは並大抵のことではないということです。

しかし、タルチュム・グループは勤労階層のあいだでつぎつぎと生まれているようです。「新しい仮面の作り方」は、まさにそうしたグループ、人たちが

のための「ワークショップ」のテキストなのです。もつとも、彼らの中では「ワークショップ」というような「カッコいい」外来語は肌合わないのか、使われていないようです。

いずれにしても、韓国の民衆文化運動を理解する上で貴重な資料だと考え、「マダン劇の会」の内部資料としてひとまず訳したものの（歯切れのよい日本語になっていないのが残念ですが）を一部コピーしてお送りします。「水牛」の読者の目にとまれば幸いです。

（マダン劇の会 梁民基）

一 仮面を作ろう

仮面を作るにはいろいろな方法がある。まずわが国の伝統仮面をみると、木、パガジ（瓢）、紙、竹籠、布切れなどを材料に使い、顔料には真彩、岩彩、阿膠丹青を主に用いてきた。面の裏につける面襦は、頭にかぶる場合は黒地または白地の木綿を縫いつけて後頭部を覆うようにした。そのほかにも、人物に見合った装飾をつけたりするが、老丈

〔破戒僧〕が松蘿（松に寄生するやどりぎで編んだ僧笠）を、マルトウギ（両班の下男）がペレンイ（竹で編んだ笠で、賤民がかぶった。平涼笠）をかぶるのなどがそれだ。

しかし、こんにち創作仮面を作るうえで、古典仮面の製作法はそのまま踏襲する必要のない参考事項にすぎない。近ごろではパガジを手に入れるのもむづかしく、木製面になるとなおのこと困難な作業過程と時間が要る。紙製仮面もやはり、昔のように年中行事のために作って、使ったあとは燃やすという習わしに従う必要はない。要は、こんにちのタルパン（仮面演劇が行なわれている場、つまりマダン演劇）が何を「共同の関心事」に据えており、タルパンの構成員に合うように「どのように演じるか」が重要なだけに、いまの時代に合った様式と仮面の製作法が必要なのだ。こうした点から、新たに紹介する「仮面の作り方」に積極的な理解を示すべきである。李朝後期の「タルチュム時代」のように、ふたたびいたるところの村や町の広場でタルパンがくりひろげられ、みんなでひとくさり演じるためにいろんな面白い仮面をいくらでも作ることができるとしたら、どんなに素晴らしいことか。

いくら頭の中で、新しい仮面を作ってみようと河回仮面（ハフエ）を思い浮かべ、鳳山タルチュムの仮面を描いてみたところ

で、新しい仮面がとっさに浮かんでくるものではない。要
は実践作業が必要なのだ。昔のヤンパン仮面を真似てみる
とか、マルトウギそっくりに作ってみるのもよい。けれど
も、こんにちのタルパンで、昔の人物が登場して古くさい
話ばかりやっていたんではあくびがでて仕様がでない。過去
の話がどんなに興味あるものであっても、現在の話を盛り
込むことの方がもっと重要なほうというまでもないことだ。
過去のタルチュムがその時代の共同の問題を解きほぐし、
みんな演じてうち興ずるのに適していたからこそ過去に
存在したのであって、その仮面は「こんにちの仮面」では
ない。それは過去の遺物にすぎない。こんにちの生活が異
なるように、われわれの演劇方式も当然かわるべきであり、
仮面もやはり同じである。

新しい酒は新しい袋に入れてこそ、おのずと味が出るも
のだ。

さあ、ではこれから、新しい仮面を作ってみよう！

二 新しい仮面の作り方

作り方に前もってこだわらずに、自分なりの創造的な方
法を工夫してみよう。

紙製仮面の場合

まずここでは、これまでの製作経験を生かして、手早く
たやすく、多量に、手作業で作れる方法を紹介する。

1 準備する物

粘土

のり

水性ボンド

石膏

紙（韓紙〔朝鮮紙〕とボール紙の両方を準備してもよい。
もちろん、韓紙を大量に買うだけゆとりがあれば韓紙だけ
にしてもかまわない）

顔料（にかわプラス丹青顔料、またはボスターカラー、
ペイント、色素、なんでもよい。要は仮面の意味を色でう
まく表現すれば足りるのだから）

いろいろな筆（平筆、東洋画彩色筆、水彩画用の筆など、
多い方がよい。東洋画の筆はまゆ、唇、しわなど、こまか

い筆体に合う）

へら

中広ナイフ（果物ナイフ）

半分に割れたゴムまり

スサナ網（なくてもよい）

2 粘土作業

(1) 作ってみたいかたちの仮面を、かぶる時のことを考え
に入れながら、粘土をつみ重ねて自在に作る。

(2) 大まかなかたちがととのったら（こぶやその他の突出紋
様を入れたければそれを貼りつけてから）表面をきれいに
ととのえる。

(3) かぶる人の眼孔と（仮面の目でないこともありうる）
距離が一致するか確かめて、土にみぞをほる。（口も同じ）

3 石膏作業

(1) 石膏を半分に割ったゴムまり（ドッチボール大がよい）
に入れ、水といっしょに適度にこね合わせてから、へら（ナ
イフ）ですくって粘土の表面にかぶせる。

(2) 4センチ以上の一定の厚さで表面にまんべんなく石膏

をかぶせてととのえる。

(3) 三〇〜四〇分後、石膏がすっかり固まったら、ひっくり
返して粘土をとりはずす。

(4) くっついた土を水でさっと洗い、石膏の表面をきれい
にする。つねに石膏が割れないように注意すること。

4 紙貼り作業

(1) ボール紙をジョウロでじゅうぶんぬらしておいてから、
水性ボンド1、小麦粉のり3の割合に水を少々入れて混ぜ
合わせ、ボンドのりをつくる。

(2) ぬらしたボール紙にまんべんなくボンドのりをつけて乾かす。

(3) そのボール紙を適当にやぶいて、のりのついていない側
を上にして、石膏の内側の壁面にぴったりくっつくように
密着させる。（最初に入れる紙を二つ折りか三つ折りにし
た韓紙にすると、よりなめらかな表面になる）

(4) 普通のボール紙からはじめた場合、三〜四枚はりつけ
ればちょうどよい厚さになる。

(5) 紙を1〜2センチほど余白を残して切る。

(6) すべて出来あがれば、日光で乾かす。

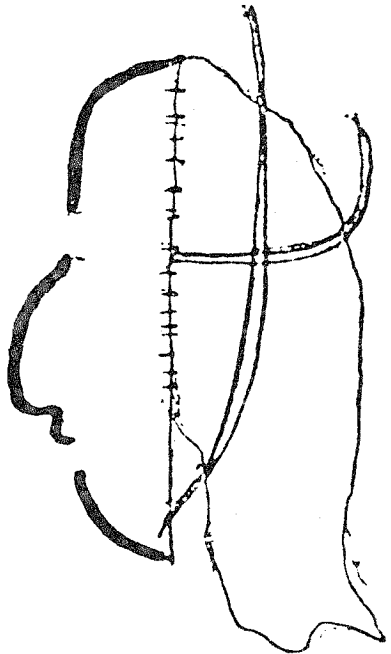
5 色塗り作業

- (1) 大体乾いたら(完全に乾き切っていない状態)、左右にゆり動かしながらはがす。
- (2) 表面の荒いところやうまく貼れていない部分をボンドのりて修正する。
- (3) へりをきれいに削りとる。
- (4) 顔の地の色をまず塗って
- (5) その上にまゆ、唇、しわ、あざ、などを描き入れる。
- (6) 乾かしてから、目と口を鋭い小刀で切り込むようにしてくり抜く。このとき、目の位置をよく確かめなければいけない。(昔の鳳山仮面のように)仮面の目と実際に見る目とがちがうとき、のぞき穴を別にこしらえる。

6 面襟のかぶせ方

- (1) 面襟(覆い布)を図のようにかぶせ、くくり紐をつくってとり付ける。一本はかならず覗き穴(見る目)の位置と水平になるように付ける。仮面が大きい場合、下顎から頭の先きにかける紐をさらに付ける。
- (2) そのほかに髪の毛、まゆ、ひげ、帽子など、つけ加えるものがあれば仮面の性格に合わせてとり付ける。
- (3) 仮面に髪の毛が必要とき、仮面の性格にしたがって黒い布切れ、人毛、色紙など、いろいろなものを利用してき

る。また、髪の毛を面襟といっしょに縫いつける方がしつかりしてよい。



7 仮面の実習

- (1) 出来上がった仮面をかぶってみて、ほんらい意図した通りの興味ある面になっているかどうかを、たがいに仮面をかぶった姿を見ながら検討してみる。
- (2) つけ足したり、とり除いた方がよいと思う部分は修正する。
- (3) 仮面の性格に合った身振り(真似、怒ったり悲しんだ

りする恰好)と踊りをつけてみる。ちがう仮面どうしてケチのつけ合い。けなし合い。踊りによる対決。言葉や歌による対決などをしてみるなどして、仮面と仮面のあいだでつくり出せる面白い要素(葛藤、飛躍、誇張、歪曲、恐怖、悲しみ、喜びなど)をひき出す。

- (4) こうした仮面の実験過程は、タルチュムの構成を肉づけてくれるだけでなく、仮面のもつ無限の可能性を見出させてくれる。

8 その他の仮面の作り方

このほかにも仮面の作り方はいろいろありうるが、紙面の関係で省略する。ただ、前に紹介したものよりずっとたやすく、簡単にできる仮面としては、石膏作業の要らない紙仮面がある。

厚手の紙に白い模造紙(または韓紙)を貼って、鼻柱を基準に半分折り曲げてから、その上に面を線で描くやり方で作る。(駕山五広大の「五方神将面」を参照)。この方法は、より様式化・象徴化された仮面に効果的だ。また、だれにでも簡単に作れるのがよい。しかし、仮面の性格を多様に表現するには平面であることの制約を受ける。

また、パガジ(瓢)がある。パガジはなによりも円い顔

の形を拡張したような本来の形をもっている。目、鼻、口、こぶ、あざなど、必要なものを思いのままに木や、のりてまるめて乾かした紙、パガジのかけら、布切れ、わら縄などで貼りつけることができる。しかし、材料のもつ制約性から、人物の性格を深く描くことはできない。とはいえ、パガジ面は味わいがあつて素朴な表現によく向いている。(統営五広大、東萊、水當野遊(いずれも慶尚道地方の民俗仮面劇)などでの「病身面」は、パガジであるためにいっそう引き立っている)

それ以外にも、木製面、プラスチック面などがあるが、木製仮面は長時間の労力と木刀法に熟練しなければならぬので、それなりの経験を要する。また、プラスチック面は、新しい製作法(鑄型式)を開発すれば無限に複製することが可能だ。したがって、仮面の大衆化に大きく寄与できると同時に、タルチュムの大衆化、民衆祝祭の「ペパン」の回復に大きく役立ちうるかもしれない。

いずれにしても、いろんな方法を状況と経済的事情に合わせて作って実験してみることは、こんにちの新しい「祝祭とノリ」をつくり出していく上でどうしても必要なことである。

いまは文化財式のもの模倣することよりも、果敢な実験精神が求められる時なのだ。

三 新しい仮面の基本型

サムドリ

すがた

(1) 大きさ——横 24 cm、縦 30 cm (髪の毛を除いて)

(2) 色——黄土色の地に墨線、赤黒い唇、片方の目が白目をむいている。上演の際に必要な演者ののぞき穴は別にあける。

(3) 髪の毛はかささぎの巣よろしくばさばさだ。わら屑に墨汁を塗ってくっつけるか、それに近い汚らしい髪をつくる。

性格

この人物は、百姓をしていた故郷を離れて、都会でその日その日、仕事にありついて暮らす日雇い人夫であったが、いまは失業者として街をさまよっている。

顔に苦勞のあとがありありと見える。どこかの路地で酔いつぶれて、うっ憤をぶちまけているところを与太者たちに滅多打ちを喰らって片目をつぶってしまったのか、一方

の目はいく針も縫ってあり、もう一方の目はどこかをうかがいみるような怖じ気づいた目、怒った目をしている。空きっ腹の口は、今にも泣き出しそうであり、のび放題のひげがうす汚ない。今日もどこかの地下鉄の入口にぼんやりつつ立って、せわしく行き過ぎる通行人を見つめているはずだ。われらの友人サムドリ、むしゃくしゃして一杯ひっかけた焼酎がまわって、顔がほてってきた。今日はどこへ行って喰いしろをかせいでようか!

サムドリ、サムドリ

ソウルへ行って金かせいで

帰ってくるっていったのに

サムドリは嘘つきよ

(口伝歌謡から)

カクソリ (門付け)

すがた

(1) 円形で赤黒い顔。横 19 cm、縦 24・5 cm (髪の毛を除いて)

(2) まず、滓が溜っているような眼孔。みつくち。

(3) 深く刻まれたしわは墨線で太く延ばして描く。



(4)しわの線の律動感をうまく生かすようにするといっそうよい。

性格

うすのろとか、ぼんくらとか、ありったけのでき損い呼ばわりを一身に背負わされた、この世でもっとも卑しめられている乞食。しわというよりは、まるで谷間のように刻み込まれた傷あとが顔じゅうを網のごとくはりめぐらしている、かえって律動感にあふれてさえる。うつろな目からは、なにかに目を凝らすいかなる貧慾もとうの昔に消え失せている。(いわゆる乞食道上)

それでも、自己流に生きていく腹づもりはちゃんともっている、根性がある。怒ると、力こそないが喰らいついたが最後放さないから、かなう者がいない。ありとあらゆる辛酸をなめるうちにすりへるだけすりへって丸っこくなつた石ころのように、跳れば遠くまで転がっていくけれども、隅っこに群らがつて暮らす。自分ら同士寄りそって生きていく。じつと坐っちょおれんさ。飢えたくなけりやカクソリ打合でもうたつて物乞いに出かけるべえか。

去年きたカクソリ
死にもしないで

またきたぜ

別荘がえり

- すがた
- (1)横26cm、縦34cm
 - (2)太々しい目。人を小バカにしたような目、ぐいとつき出た観骨を生かそう。
 - (3)ひたいに絆瘡膏。あらっほく刺ったひげ、折れ曲がった鼻柱などは、険しい人生を物語っている。
 - (4)古銅色を地に塗り、観骨、あごなどに黄上色で量感をたせる。
 - (5)黒い髪の毛をつける。のぞき穴は別にあける。

性格

「ご免なすつて。てまえはかつはらいて二犯、刃物を振りまわして三犯、合わせて五犯の前科者でござりやす。左様。ここにおいでの上淑女の方の財布を掠める巾着切りのふせいが、なを大きなつらひっさげて出てきやがったかとおっしゃるや知れません。左様。すがてまえ、今は過去を悔い改めて真人間になろうと、ここに立った次第でございやす。左様。もうこれ以上、前科者の悲しみを背負い



別荘がえり



コッスニ

とうはないと念じやして、ここに品物をいくつか持参してまいりやした。てまえの気持をよろしくお汲みとりの上、どうか買って下せえやし。買って下さりや大きにありがとうよ、買って下さらなくても、どおってこたあない。お氣持だけでもありがたく丁戴いたしやすので、左様」

よほど窮してでもないなければ、だれが五つ星のバスの中で物乞いなどするだろうか？——惜しい人を一人、駄目にしてしまった。社会のせいなのか？無情のせいなのか？
ついこの間、土方工場で前科がばれて追い出されてきたこの友人。「どうやって生きていこうか」と思案の末にバスにとび乗った。「てまえのような者は、ジャバに出てきたって囚われの身とおんなじさ。くそッ！」

血氣盛りのころにや

たんまり稼いで威勢よく遊んだけど

今は鉄窓暮らし

前科者なんざ囚人同様さ

罪多いこの身の行く先きは

偽導所〔刑務所〕の赤い屋根

銀の足かせはめられ

手繩にしばられ

おれは行くのさ

看守のあとについて
列車に乗って行くのさ
さようなら
ソウルの地よ！

コッスニ(転落した娘)

すがた

(1)横17 cm、縦23 cm

(2)卵形。墨線は細いめながらふくらみをもたせる。

(3)垂れ下がったまゆと目、腫れぼったい唇でコッスニの典型をつくってみる。

(4)頬に赤いおしろいをぬる。どことなく不釣合いな安っぽい香気がただよっているかのよう。

(5)髪型はパーマにしてもよい。

性格

ヤンビ

「楊洞588を舞台に、道ゆく人びとの袖を引っぱって、遊んでおゆき、ひと休みしておゆき、客引きに疲れはて、今日もあたしの唇、青じんじやった」(李美子の歌のかえ歌)

十六で故郷から出稼ぎにやってきて、花のような年頃で

工場を転々と渡り歩いた末に解雇された身の上。喫茶店のウエイトレスから呑み屋の女、歓楽街にまで足を踏み込んでしまった女。故郷の貧しい暮らしを支えるのだと、弟の学費をかせぐのだと上京してきた女。

耳朶ほどの土地で借金ばかり増える百姓では食っていけず、住み慣れた故郷を捨てて工業優先政策で肥え太った都市へ、働き口を求めてやってきた失業者がどうしてコッスニだけなものか！

純情な恋に胸はずませる年頃だというのに、数知れぬ男に体を売り、ピンク色の箱部屋で身も心も痛めつけられて瘡ができ、目が目が腫れあがり、体がむくれていく生活。それでもコッスニは、氣を落とさないで生きていくセメントの壁に生えた雑草なのか？生活に疲れ果てた哀れな男たちが、今日もコッスニの胸に頭をうずめる。いったい誰がコッスニに石を投げられようか！

コンドリ(低賃金工業団地で働く工員の賤称)

すがた

(1)大きさ——横21 cm、縦26 cm

(2)黄褐色の地に墨線でまゆ、ひげを描く。

(3)こぶをくつつけている。

(4)目はうわ目をむくか、あるいは見上げるようにぼんやり見つめ、
(5)下顎は動くようにする。横から見ると下顎がぐっと突き出たようにすると面白い。

性格

今日も機械とともに過ごした一日。廻りっぱなしの機械人生。朝めしにラーメン、昼めしに味噌ラーメン、夜勤から帰ってきた夜なかにははりこんで卵入りラーメン。「ああ、ラーメン、ラーメン、またしても憎つきラーメンよ！」をあくびのように呟き、ぶっ倒れて寝るだけのコンドリ人生。

「夢の中で、故郷のおかっぱ頭のあの娘が俺を呼んでるよ」帰るに帰れぬ故郷の山河。えい、くそッ！行つてしまふよ、はかない人生。

それでもきつちりやってくる出勤時間。また今日も、目をしばたきながら夜明けの道をいそがねば。共に苦労している同僚たちが俺を迎えてくれる。

連想される歌「みんな眠ったの？」

太鼓腹

すがた

(1) 大きな——横22 cm、縦30 cm、まんまるの蒸しパン形。血色のよい顔。

(2) つるんつるんのひたい。笑みをただよわせた目差したが、目尻がけわしい。

(3) 丸々と太っていて、これ以上肉の付きようがないほど山のように盛り上がっている。

(4) 紅桃色の地に赤い唇。

性格

一見、いつも笑みを浮かべていらつしやり、角のとれた川満な表情に悪意などこれっぽちもないみだ。肉が付すぎて窮屈そうだし、ゆがんだ笑顔、ひかひか光るつるてん頭が滑稽に見えるのだけれども……ところが、太鼓腹の社長さんにささげる職工たちの歌がある。

腹黒い社長さん

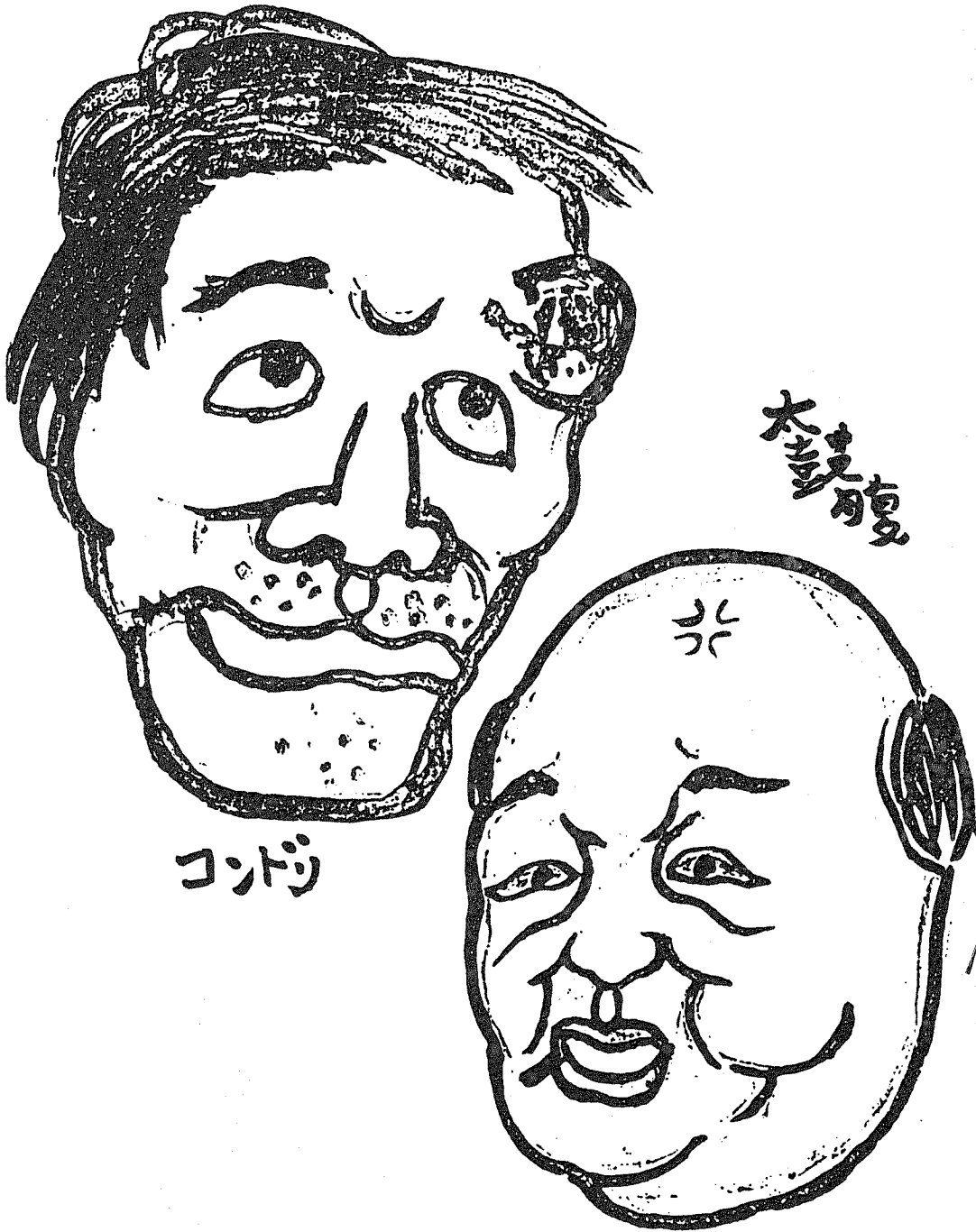
見かけは慈悲深そうだけど

心は毒蛇のように憎々しいので

あたしたち がっかり

あてがはずれたわ

太鼓腹社長さん



コトツ

オモ!奥様

社長さん! 月給上げてよ
でなきや あたしたち
食べていけないのよ

〔花の家の乙女〕のかえ歌

ついに太鼓腹社長さんが工場視察にこられた。工場長以下全社員は何日も前からなぜかそわそわ、せかせか、工員たちに対する態度がいつそう厳しくなった。工場セマウル運動の時間が延長された。勤務時間以外に一時間も余計に働かされた。庭の手入れ、窓ガラス拭き。床の掃除……。とうとう、黒いローヤル・レコードが工場内にすべり込んでくる。あっ! 社長さんがお降りになる! いっせいに堵列して、頭が地面につくほど深々とおじぎをする重役さんたち。

社長さんが訪れたあと、労務課長がクビを切られ、工員たちが大挙部署移動させられた。三名が解雇された。見かけとちがう太鼓腹社長さんは、いかなる威力があつて数千人の職員をそれほどまでに震え上がらせるのか? 顔のうちにひそむもう一つの顔があるらしい。これを仮面につくとどんな姿になるだろうか?

- すがた
- (1) 大きさ——横19 cm、縦25 cm (髪の毛を除いて)
 - (2) 最新流行の化粧法を駆使していろいろな色をぬる。
 - (3) ただし、貴婦人らしい白玉のような膚の色を浮き立たせるように彩色してから、
 - (4) 髪の毛は染めた褐色の髪にしてみよう。

性格

麗わしい目、高い鼻、官能的な唇、通俗的な美しさを存分にそなえた貴婦人の典型である。色白でつやつやと艶めかしい肌。まさに五福を一身にまとったような誇らしく、派手やかな表情。だが、ひとを見下すような唇と傲慢な目差し。お高くとまっているけれども、所詮土地投機に夢中の世間でいうところの「福夫人」。また、「豪華なショッピングでヘチマ・パラム」〔装すそをなびかせること〕を吹かせるにはもってこいの奥様だ。

「奥様、ここから撤去区域です」

「オモ！(あら!) そうよね! ここから棒杭を打ち込めばいいわよ」

こういった貴婦人は、「へ手成家」したためしはきわめて少ない。夫君の権勢を後ろ盾にでしゃばった振舞いをす

る。金まわりがよくて羽振りのきく夫君といえ、いまを時めく「お偉方」に決まっている。いずれにしろ、豪華な服装と、きらめく装身具を身にまとい、氣どった足どりでタルパンにあらわれた「オモ！奥様」は、見物人を腹が痛くなるほど笑わせるのに充分だ。

連想される歌「みにくい顔」の第2節

お偉方

すがた

- (1) 大きさ——横24 cm、縦28・5 cm
- (2) ピンク色の血色のよい顔に、きらきらした目。貧慾な口、欲にこり固まった頬。
- (3) 上より大きい下顎の曲線を生かし、頬の曲線も生かそう。
- (4) のぞき穴は別にくり抜く。

性格

「高い地位にいらつしやるあいだに、ちよつと面倒見てくださいよ」

これは今どき巷で流行っている言葉で、地位にものを言



オモ！奥様

お偉方

わせて威張っている人をあざけった冗談口だ。
この御仁は、ペコペコへつらいさえすれば気に入る、口がどんぶり鉢ほどにもほころび、ほころびすぎて裂けばかりの「お偉方」。朝、出勤なさる時は門番が靴を磨いて待っており、運転手はすでにローヤル・レコードのドアを開けて待ち構えていて、丁寧に乗せる。交通巡査はかならず敬礼をして見送る。この御仁は、つねに命令することしか知らない。

「やれば出来る。出来なければ出来るようにしろ！」が人生の信条であらせられる。

トッケビ(お化け)

すがた

- (1) 大きさ——横 22 cm、縦 29 cm
- (2) 青銅色の顔に、星マークをくつつけている。
- (3) 目の縁を黒い墨線でより陰険に、垂れ下がった唇を赤い色でより残忍に描く。

性格

顎を引きしめ、顔をこわばらせた典型的な沈黙と秩序と権威の象徴。タルパンでわれらの仲間たちの饗宴をぶっ潰

すのもこやつであり、人びとをひっ捕えていくのもこやつだ。強硬策をがなり立てるのもこやつだ。絶対権力の足下にいつも待機していて、つねに命令に従い、命令とあらば生死をも賭ける義理(?)の男。鼻持ちならぬ下劣野郎だ。こやつは、今日もタルパンの演戯に目を光らせ、耳をそばたてて監視する。体力鍛練と武術修練にはげみながら、つねに待機中である。お上の命令が下るのを今か今かと待ちわびながら。

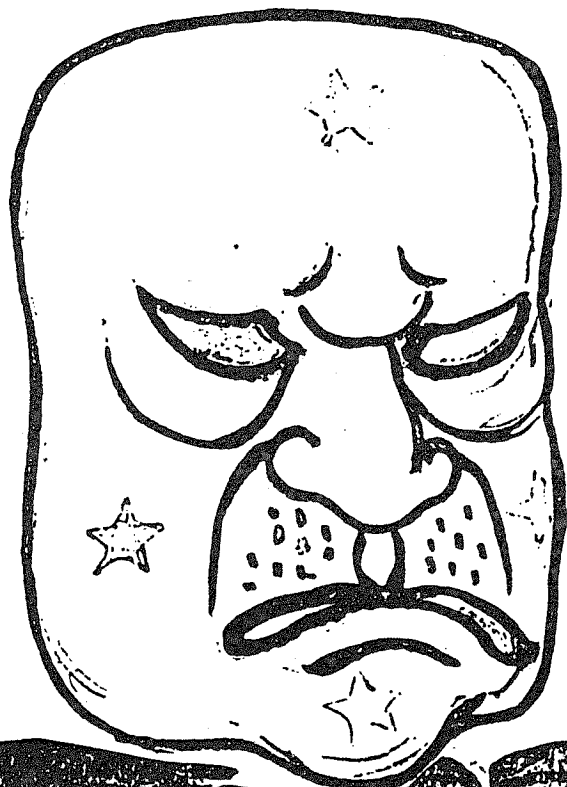
ごますり

すがた A

- (1) 横 19 cm、縦 22 cm
- (2) かるいうすべつ甲色の地。(のぞき穴を別にあけてもよい)
- (3) 黒の墨線で目とまゆをぬり、赤い唇にする。

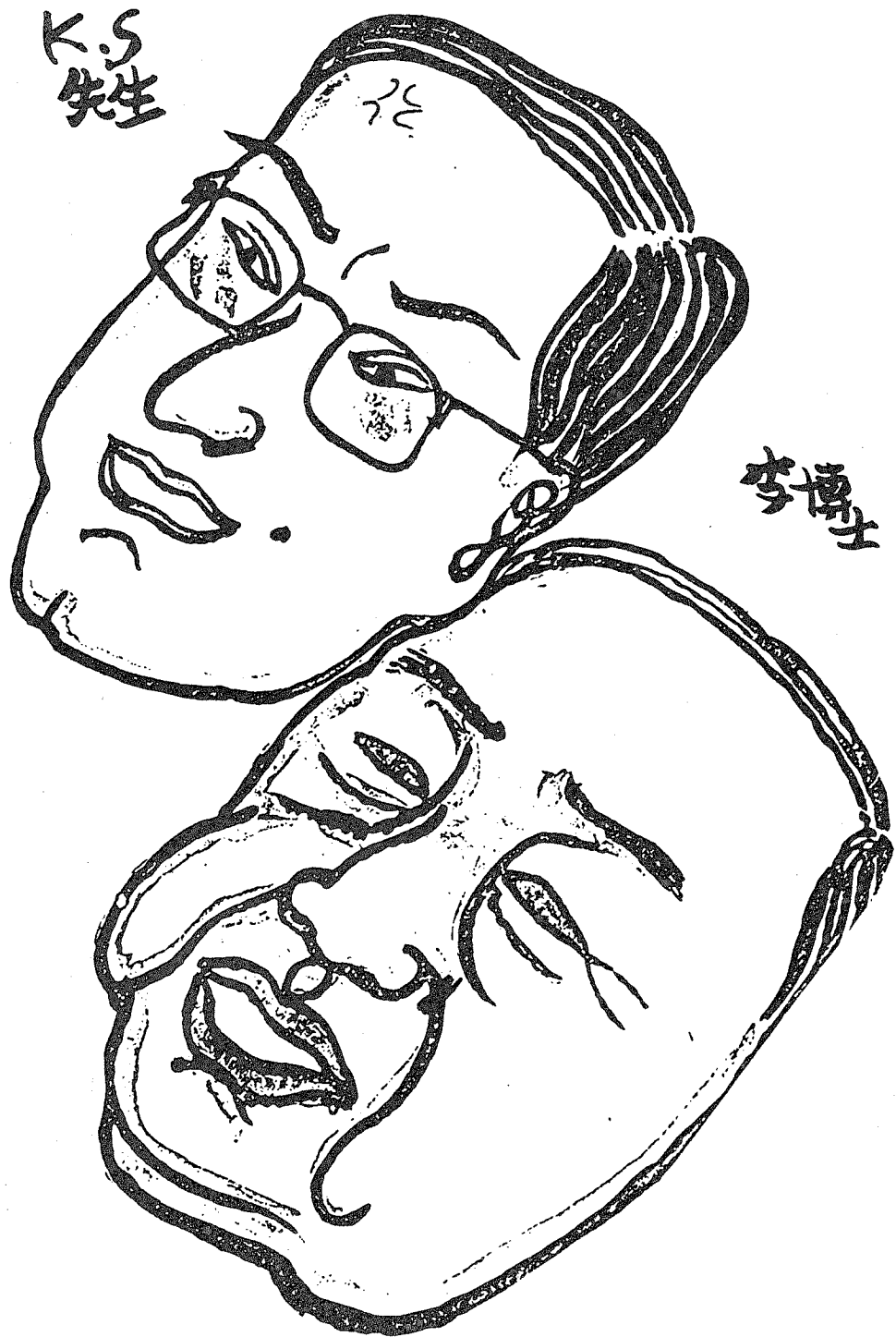
すがた B

- (1) 横 19 cm、縦 27・5 cm
- (2) そばかすとすず黒い顔の色で苦勞のあとをあらわす。
- (3) だが、とんがった下顎と、鋭いが細やかな曲線が、目先きを利かせて要領よく生きていく姿をよくあらわしている。



トッケビ





K.S
先生

李博士

性格

職業柄、上司をつねに恭い、べこべこへつらう。角ばらない顔つきをして、目と口元におべっか笑いをたたえている。髪は櫛で端整にしている。本来貧しい家庭の生まれで、苦勞して育ったのだが、今はひたすら目上のお方に見える目下の者を虐げることが信条としている。
典型的な出世型。漫画によく出てくる常套的な奸臣の笑みを浮かべている。

名誉がほしいかい権力がほしいかい
名誉もいい権力もいいけど
金をたんまり下さる社長さんが
もっと好きだつてさ
エヘヤ エヘヤ エヘヤ エヘヤ
てめえの名は ご・ま・す・り

K・S先生

すがた

- (1) 楕円形の白プラス淡紅色の顔。横22 cm、縦27 cm
- (2) 金ぶちめがねをかけている。毛髪をつける。

- (3) 耳目口鼻をやや細めの墨線で、切れ鋭く描く。
- (4) 赤い唇にほくろ、ひたいの光沢紋様を生かすなど、面白さを出してみよう。

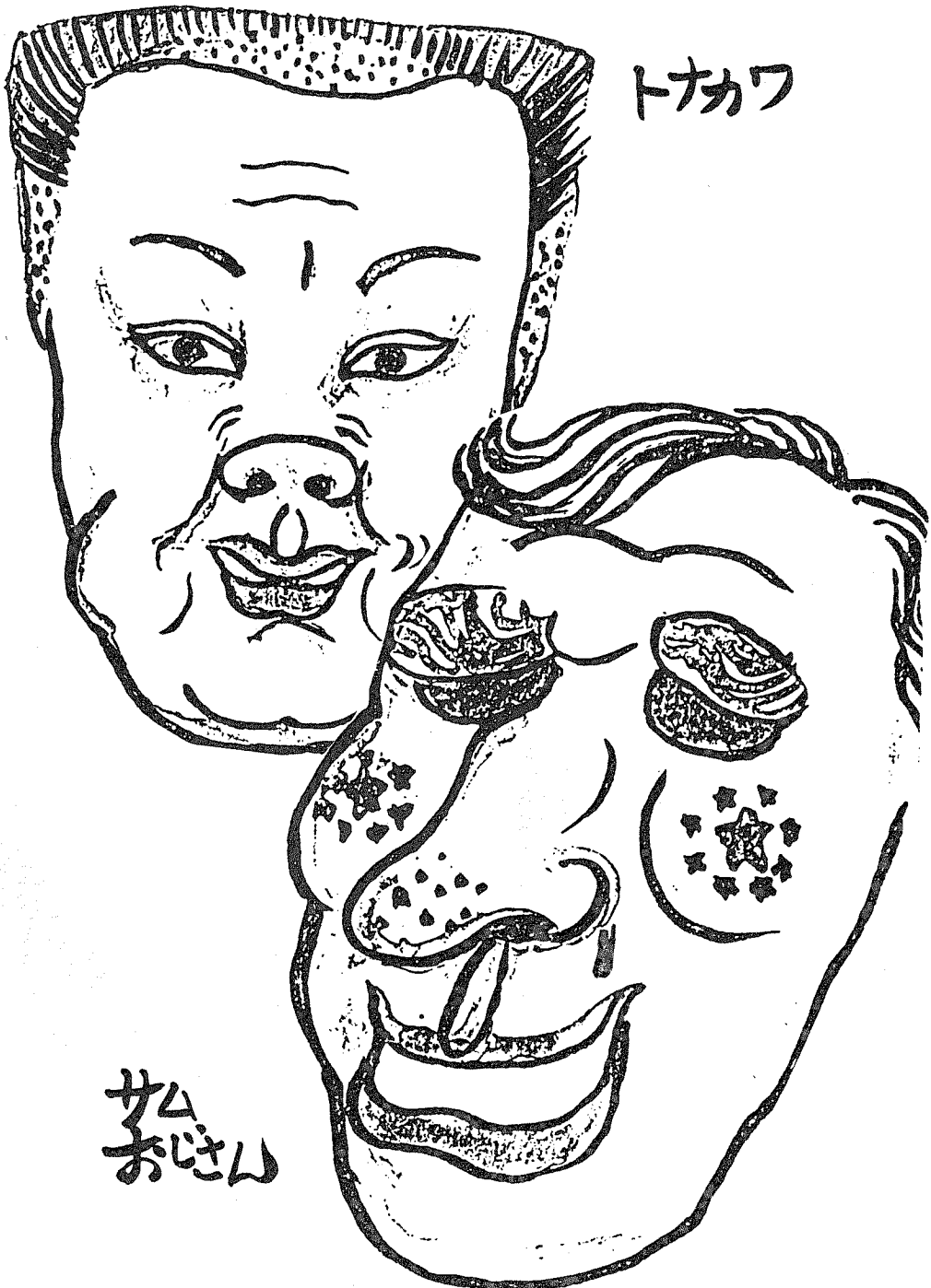
性格

K・Sマーク〔韓国工業規格〕。それだけでは足りずに米国の有名大学と大学院を優秀な成績で出られ、そのまま一足飛びに国内の有名大学の教授となられた。学問は高遠にして純粹なものであるから政治的・社会的傾向を帯びた学問を軽蔑し、絶対中立を学生たちに強調なさる。研究なさっている学問は経済学の中でも特に比較優位論を専攻しておられるとのことだ。全体の顔の表情は、白く透きとおった皮膚に突き出たひたい、鋭利な目差し。剛直そうな驚鼻。禁欲的なうすい唇。肉づきのよい頬。どこをとっても非の打ちどころのない大韓の秀才タイプ！ 針でさしても血一滴出ないような無感覚・無趣味・無表情の知性派。ひたすら空を仰いで暮らしていなさるインテリ貴族！

李博士

すがた

- (1) 大きさ——横21 cm、縦30 cm、白い肌の地に黄色い斑点



トナカワ

サムおじさん

がいくつか。

(2)古い新聞、写真年鑑などにしばしば出てくる李(承晩)博士の姿をそのまま参考にする。

(3)本来の性格を変質させない範囲で、最大の歪曲と誇張をほどこしてみよう。

(4)まばゆそうな目、垂れ下がったまぶたと、たるんだぶ厚い頬が特徴的だ。権力の第一人者らしい謹厳さと権威が顔にただようようにするとおよい。髪の毛はとりつける。

性格

いまだにわれわれの記憶に生々しい李博士！

四・一九といえば、すぐさま思い浮かぶ李大統領！

二十三年が過ぎたこんにちにいたっても、李博士の政治的功罪をとりあげて論ずるのはなぜか気がひけるブルガサ

リ(鉄を食う想像上の動物)政治家。野史中心のラジオドラマや史劇ではいまだに愛国者の李博士。しかし、過ぎ去

った世代の人物を、いま、みんなが顔をつき合わせてとり囲み、このタルバンに招いてみる。

なぜ四・一九で多くの若い学生、市民が死んだのか？

立派な愛国者が多くいる中で、よりによって、なぜ李博士が大統領になったのか？

李博士の政治理念は何なのか？

解放直後の無数の激動の中で、李博士はどのような姿勢をとってきたのか？

数えきれないほどの隠された話の主人公。李博士の仮面はどんなことをしゃべるだろうか？

トナカワさん

すがた

(1)大きさ——。横18cm、縦25cm

(2)悪がしこい豚の相。サムライ式の目の扮装。

(3)彩色は日本の色彩感覚を生かす。煽情的な赤い唇、サムライに似た目、欲深そうなふくりふくりんだ頬つべたにブタ鼻。

(4)なにかをもぐもぐ噛んでいるような頬をつくる。

性格

この地にまたやってきた日本人は剣をさげた軍人ではなく、金をたんまり持ってきて、工場も建ててくれ、技術も売ってくれ、金も貸してくれる事業家たちである。各種の免税、特惠まで受け、労使関係でも有利な条件にあり、不平等契約を結んでいる。こうした恵まれた投資条件の上にもまたとない市場を手に入れた日本の事業家たちは、ふたた

びむかえたわが世の春とばかり、輸出自由地域をねり歩き、ホテルの特別室や最高料亭に足繁く出入りしている。

「チヨーセン人を助けてやったわがイルボンサラム（日本人）にのう、カムサ、カムサ、カムサヘーラ（感謝しろ）！」（「マラデスの歌」）「マラデスは、そんなこと言わんといて、の意のマラに、日本語の語尾デスをつけた造語で、キーセン観光を扱ったマダン劇「アグ」に登場する日本人」

意気衝天、傲慢無礼、顔面没獣のエコノミック・アニマル。

強い者には弱腰で弱い者には強腰の島国根性が、またこの地を掻きむしっている。「なんとかいう工業団地も日本人のものだっというぜ」「なんとかさんの農場もそっくり手に渡ってしまったとさ」「あのビルも、実は日本の金で建てたのさ」。見えない噂が、さまざま噂が立っている。

サムおじさん

すがた

- (1)横 21 cm、縦 30 cm
- (2)黄色い髪にピンク色の西欧人の顔
- (3)くぼんだ目、高い鼻、変なうす笑い、などを生かそう。
- (4)面白い紋様を入れてみよう。(星だとか、いちご鼻、笑

いじわなど)

性格

われらの友邦のおじさん。顔かたちがわれわれとまるでちがっていて、まっ先きに異質感を感じさせる異邦人である。しかしこの国に対しては莫大な力を行使している友邦であり、実にさまざまなものをつくり上げてきた。だが、サムおじさんは韓国にやってきて、安い米を高く売りつけもし、コカコーラ商売、肥料商売、技術商売……チヨコレート、チューインガム、外国語など多くの流行をまきちらしめた。だから韓国を「オー、グッドマーケット！」と驚嘆なさるのはご尤もだ。おお、素晴らしき国、われわれの安全を守って下さるまことの兄貴分。その青い目にどんな考えを秘めていらっしゃるのか！

チュ、チュ、チューインガム

口に入れて、くっちゃやくっちゃ

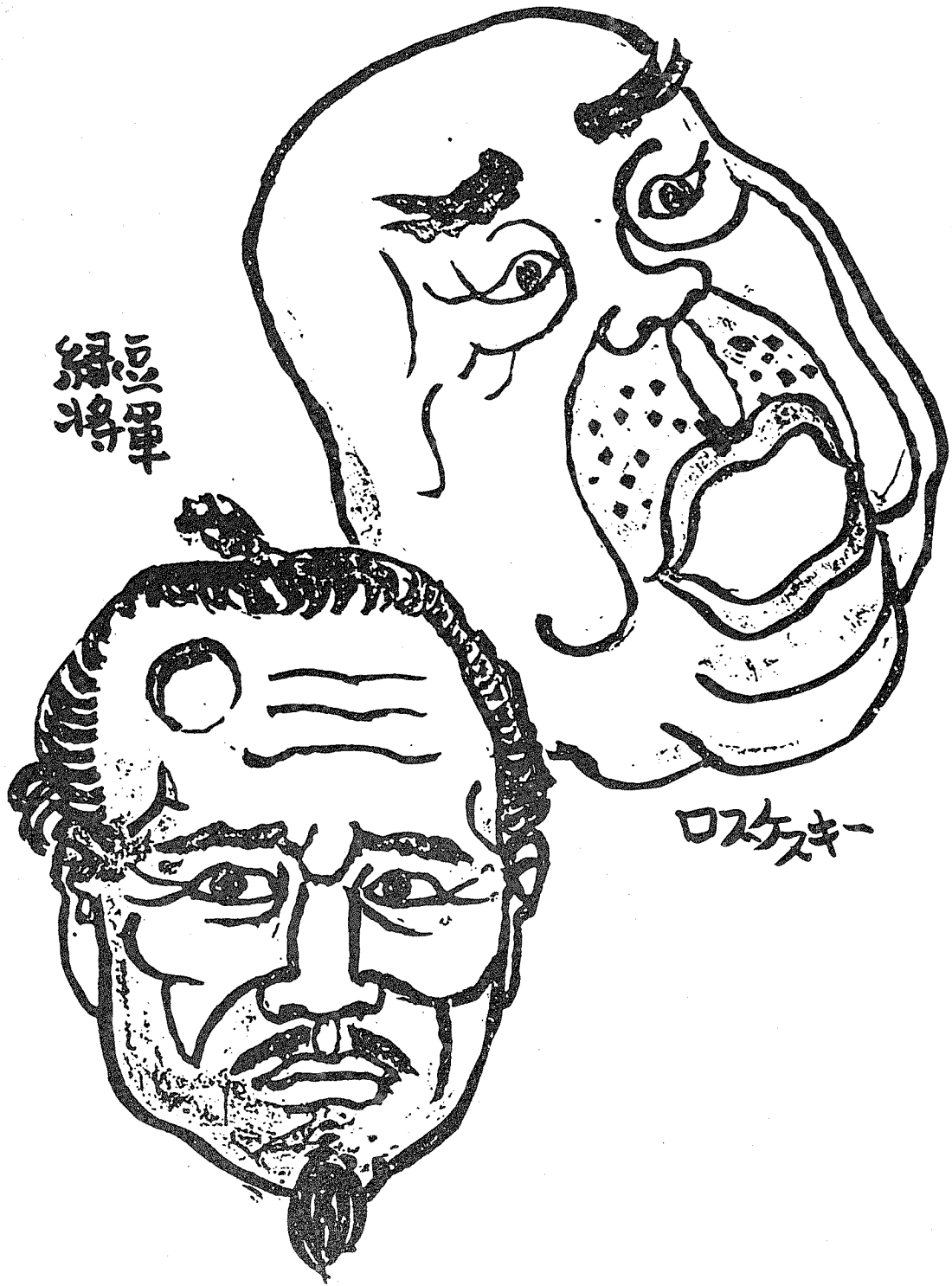
噛んでみなよ チューインガム

(「ジンギスカン」のかえ歌)

ロスケスキー

ロスケスキー

大将



すがた

(1)横23 cm、縦30・5 cm

(2)白くて血色のよい皮膚に、ひげの部分が青味がかった
いる。

(3)充血した目、大きく開いた口、ブルドックのような垂
れ下がった頬に欲深さと頑固さと権威をあらわしてみる。

(4)濃いまゆ毛に長い鼻みぞがこの顔のもっとも大きな特
徴である。

性格

帝国主義の植民地争奪戦が熾烈なとき、弱小民族はほん
とくにみじめなほどひどい目に会わされてきた。今は過去
のように直接侵略はなくなったとはいえ、いわゆる覇権主
義でもって世界に緊張を激化させている。資源と食料が武
器化し、核兵器を自分たちの最善の防禦手段であるかのご
とく誇示する。ことに、わが国のような分断国家にとって、
強大国の覇権主義がもたらす直接間接の被害はあまりにも
大きい。

いつからわれわれの安全と生存を強大国にゆだねようと
したのか！ 近代史の展開以後、これほどまでに外勢をこ
の地にはびこらせたのは誰の責任か？

(5)五広大の五方神将のように、半折りにした紙の面にし
てもよい。

性格

ついにタルパンに緑豆將軍さまが登場した！

歓喜と喜びに満ちあふれる勝利のパン(場)に、あるい
は屈辱と悲しみの悲愴な敗北のパンに入ってこられるにし
ても、いずれにしろ百年以上過ぎたこんにちに姿をあらわ
されたのだ。

こじんまりした背丈、ひきしまった体、とびきり大きい
顔をあげて、踏みしめるような足どりでお出ましになった。
ひたいのこぶは蘆嶺山脈の精気を宿しているのか。湖南平
野を馬にまたがって駈けめぐられた緑豆將軍さまだ。

人が天である。人としてどうして人を凌蔑し、惨殺する
ことができようか。邪悪な外勢を後ろ盾にして権力維持に
だけ血まなこになっていく輩どもめ！ 国を亡ぼすけども
のどもめ！ 峻厳な当時の叱咤があなたの目の輝きに歴々
とあらわれている。

われわれの苦難を先きがけて背負われ、それを全身で防
ごうとなさったあなたが亡くなられてすでに久しいこんに
ち、緑豆の仮面はよみがえり、いまふたたびタルパンに姿
をあらわされた。なんと叫びなさるだろうか？ このけわ

こうした疑問がタルパンに投げかけられたとしたら、演
者はロスケスキーになんといつて食ってかかれればよいのか。

やってきました、ロスケスキー

朝鮮の地に やってきました

右手に時計十個

左手に朝鮮娘十人

やってきました——ロスケスキー

(「いるぜ、ハード」のかえ歌)

緑豆(ノクトウ)將軍さま

すがた

(1)横34 cm、縦44 cm(まげの先きとあごひげの部分を除い
て)。赤土色の地に墨線で、

(2)全棒準の肖像画を基本型に、壮嚴に誇張してみる。

(3)ひたいにこぶ。射るような目。ひげと観骨、よれ曲が
ったまげがよく似合い、だれにもすぐわかるように人物の
性格を生かしてみよう(目の位置が合わなければのぞき穴
をもう一つつけてもかまわない)

(4)しかし、新鮮味あふれた嚴かな顔立ちになるように努
めよう。

しい峠に立って。

連想される歌「湖南農民歌」

四 創作仮面戲の準備のために

準備の仕方はいろいろありうるが、ここでは仮面と台詞
がまずつくられ、踊りと音楽をそれに付けていく方式を選
んで創作作業にとりかかることにしよう。

まず、ありうべき典型的な事件を設定する。タルパンに
登場する人物も設定し、その人物を分析してパン(舞台)
で展開可能な面白い話で筋を立てる。

この時、仮面の性格をよく把握してその造型化を試みる。
おのおの自分の役柄に合った漫画式の絵、カリカチュア風
の絵、民画風の絵、スケッチ風の絵を各自描いてみること
にする。反対に相手役の絵を描いてみたりもし、これで話
をつくってもみる。なかなか面白い絵物語ができ上がるは
ずだ。

登場人物はおどけと笑いに満ちた形態に誇張する。友好的な人物には諧謔的表現を、敵対的な人物には諷刺的表現を意識しながら、またその人物の裏面にかくされた性格を果敢に視角化させてみる。

ある意味で才談(台詞)の組み立て方の基本も、仮面のつくり方と同じである。最初は日常的な言葉をぎこちなく組み立てたものになるが、それをとり替えたり、練り直したりしてみる。各自がそれぞれ自分の台詞をつくってみて、たがいに入れ替りながら台詞の練習をしていく。

こんにちのタルチュムの才談が昔のそれとまったく同じ韻律を踏む必要はない。しかし、各人物の性格にしたがつて、また生活の仕方のちがいによって、しぜんとあらわれそれなりの言いまわしがある。そうした言いまわしを才談(台詞)化する。限りなく演劇を重ねていくなかで散文的な台詞は韻文へと、韻文的な台詞にだんだん変わっていくだろう。

練習の雰囲気や酒宴のように騒がしく、放埒なまでに破目はずしたもにしてみたり、冷徹に作業の進み具合を点検してみたりもする。けれども、民主的な討論の方式を維持し、自分の役割に主体的に参与する雰囲気をつねに

つくっておかなければならない。

このようにして、仮面と台詞がさらに科場(幕)別の筋にまとめられれば、踊りと音楽をそのなかに挿入してみる。人物の性格に合うように、みんなの知っている歌や踊りであれば、さらに申し分のないこんにちのタルチュムの立派な形式となりうる。ただし、どこにでも通じることではないけれども、地域的、年令的、意識程度を考慮した同質的な部類のあいだではそうだといいことだ。

創作タルチュムは、最初から完璧たりえない。粗雑ではあってもそれなりの、精いっぱい各自の自発的な参与と主体的な創作力を発揮すれば、立派なタルタンなのだ。それが受けもついくらかずつの仕事を持ちより一つにまとめて大きな祝宴をつくり上げるといった気分、演じながら学び、考え、劇をつくっていく経験を積むことが大切だし、学んでいくうちに、「できるんだ!」というおどろくべき自己変質をとげてタルパンに堂々と立っている自分を見出すであろう。

教育を受けた者は、空虚な観念意識から抜け出して、頭と体が一つになって躍動する、真にわれわれの目指すものが何であるかを、胸で感ずることができよう。



水牛楽団のページ

七月九日は、海老名の生活クラブ生協配送センターのオーフニングに呼ばれた。「水牛楽団の歌」から始めて、アウ合奏など。高橋悠治は、ピアノ・ソロで戸島美喜夫作曲「鳥」、三宅様名作曲「ゴントラのタンゴ」などを、やはり三、四曲ほど演奏する。

この日は土曜日の午後だったせいか子供たちもたくさん聴きにきていた。二時間のコンサートは少しきついかたと気になったが、終りまでよく聴いてくれた。子供のいる会場では時々あることだが、コンサートの休憩時間になると、いくらかの子供がソロソロと私たちに近づいてきて、興味を持った楽器をジーツと見て、ちよこつとさわっていく。

中国の太鼓、インドネシアの太鼓、ヤギの

つめ、象の首鈴……楽団の楽器もずいぶんふえた。普段はあまり見たり、聴いたりしない楽器がいっぱい。子供たちは水牛楽団の演奏がどうのというより、使っている楽器がおもしろくて聴いてくれるのだろう。でもその時は楽器に興味をもってくれたにしても、それが小さなおつかかりとなって、子供たちの心のすみに水牛楽団の声を受けとめておいてくれることができたらしい。

七月二十九日(金)、全国障害者解放運動連絡会議による「第八回東京大会」に出演予定。

七月の仕事はこれでおしまい。

八月三日(水)は「第四回戦争体験を語りつぐ集い」八月十三日(土)は、山谷の「夏まつり」に出演の予定。

八月の仕事はこれくらいだろう。しかし、今月はタイからカラワン楽団も来日することだし、その準備でいそがしくなると夏休みというわけにもいかないみたいだ。福山敦夫と私は、カラワンが来るにあたってタイ語の猛勉強中。週二回のタイ語のレッスンに、暑さも忘れ、しっかり通っているが果してどれだけ成果があるのかしら……。

(亀田伊都子)

凱風

第一次凱風合冊版 定価1200円(送料250円)

『第一次凱風』創刊号から第5・6合併号までの全5冊を美麗表紙にて製本しました。蔵書用、資料用、閲覧用として、ご利用ください。

〈主な内容〉巴金『随想録』より「蕭珊を思う」「自らを解剖する」/傅雷『傅雷家書』より「わが子は異郷にあり①-③」/残された中国人養父母たち/中国映画私見/おんなが語るいくさ世一「沖繩一座間味島にて」/銚子に見た差別とお上意識/金城次郎と沖繩の工芸/大衆芸能藤栗毛

〈第7号予告〉160ページ 定価780円 [特集] 1983年における戦争状況——日本復帰10年・沖繩の精神医療/島成郎 三つの国を生きた朝鮮人映画人/内海愛子など

●お近くの書店に
ご注文ください

凱風社

東京都中央区銀座1-20-2 03-567-5030 振替東京5-88715

編集後記

本号は「仮面づくり方」一本にしぼりました。仮面づくり方を記述しながら、それらの仮面をつかってどんな「新しい仮面劇」を上演しようというのかをつたえる、なかなか読みごたえのあるマニュアルだと思います。八月十日から三十一日まで、東京をはじめ大阪、女川、東北各地でアジア民衆演劇会議（ATF）が開かれます。フィリピン、インド、マレーシア、インドネシア、タイ、シンガポール、ブラジルから三十人ほどの演劇人、社会活動家、学校の先生などがあつまり、おたがいの経験をもとに、それぞれの民衆演劇の方法をいっそう深めようというあつまりです。

教会やお寺にザコ寝の三週間——会議というよりはまア合同合宿といったところ。八月二十七日と二十八日には世田谷の羽根木公園（梅ヶ丘）でお祭りをやります。

問い合わせは東京都目黒区下目黒二一八、一三六〇三のATF事務局へ。

電話は〇三（四九五）六〇九九です。

模索舎年鑑'82

- ・自主出版物目録81・8～82・12
 - ・定期刊行物発行者(団体)住所録
 - ・ベストセラーズ'82
- 680円(〒200円) 他

ミニコミ・自主出版物取扱書店

模索舎

東京都新宿区新宿2 4-9 Tel03-352 3557

*子約購読の申し込みと送金は郵便振替を利用して下さい。

口座名、水牛編集委員会
口座番号、東京四一九一七九二
購読料、一年分三〇〇〇円(送料共)
半年分一八〇〇円です。

*住所、氏名、電話番号、何号からというところを明記してください。

*本誌は次の書店にあります。

模索舎(新宿) 〇三五二二三五五七
木風舎(阿佐谷) 〇三九八一二六六六
信愛書店(西荻窪) 〇三三三二四九六一
アール・ヴィヴァン(西武池袋12F)
〇九八一〇一一一内線二九五六
名古屋ウニタ書店 〇七三二一一三八〇
ワンラブブックス(下北沢)
〇四一一一八三〇二

水牛通信 第五巻第八号
一九八三年八月十日
定価 二〇〇円
発行人 堀田正彦
発行所 水牛編集委員会
〒154東京都世田谷区新町2-15-3
八巻方
電話〇三(四二五)九六五八
振替口座東京四一九一七九二
印刷所 (株)トライプリントショップ